



観音寺市議会だより

KAN-ONJI CITY COUNCIL No.34 2022.8.1

ミライエ

観音寺の輝く未来へ市議会の動きをわかりやすくお伝えします

6月定例会のあらまし	2
5月臨時会の概要	3
委員会視察報告	4
一般質問	5
審議結果	11



人口 58,110 人

(2022.7.1現在 内外国人1,049人)

(対4月比 92人減)

 観音寺市議会

お知らせ

本議会だよりでは、提出議案の一部を掲載しております。その他、議案などの詳細は市議会ホームページをご覧ください。



6月定例会の主な議案

Pick up!

— 議案第50号 —
観音寺市税条例等の一部改正について

主な内容

住宅借入金等特別控除

〈令和5年1月1日より施行〉

- 住宅ローン控除の適用期間が4年延長され、令和7年12月31日までの入居者が対象となるのに伴い、対象者の所得税から控除しきれなかった額を、控除限度額の範囲内において、個人市民税から控除するもの。(控除期間13年)

定例会が6月6日から23日までの18日間の会期で開かれた。一般質問は13日に8人、14日に7人が市政についてたずねた。各常任委員会では、付託された議案について審査し、最終日には、各常任委員付託議案を原案のとおり可決した。また、追加議案1件が提出され、原案のとおり可決した。

Pick up!

— 議案第52号 —
令和4年度観音寺市一般会計補正予算（第2号）

子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種 2,397万円

- 平成9年4月2日生まれから平成18年4月1日生まれまでの女子で未接種者が対象となるもの。
※「県外での接種者」または、「令和3年度末日までに自費で接種された方」も対象となる。

Pick up!

－議案第53号－

令和4年度観音寺市一般会計補正予算（第3号）

子育て世帯生活支援臨時特別支援金支給事業 1億8,049万円

●子育て世帯への生活支援臨時特別給付金は、高校生以下（18歳以下）1人あたり2万円を支給するもの。

※世帯の所得制限はない。

農林業者支援金支給事業 5,021万円

●原油価格・物価高騰に直面する市内農林業者の負担を軽減するため、定額の支援金を支給するもの。

※農業3万円（認定農業者等5万円）、林業3万円、畜産5万円

漁業者支援金支給事業 559万円

●原油価格・物価高騰に直面する市内漁業者の負担を軽減するため、定額の支援金を支給するもの。

※漁業5万円

運輸事業者支援金支給事業 2,719万円

●原油価格高騰の影響を特に受ける市内運輸事業者等の負担を軽減し、事業継続を下支えするために支援金を交付するもの。

デジタル商品券発行事業 2,200万円

●今年度実施予定の、デジタル商品券の発行総額を引き上げるもの。

営業継続支援金支給事業 5,497万円

●香川県営業継続応援金（第4次）の支給を受けた市内事業者のうち、一定の要件を満たすものに対し、支援金を支給するもの。

第3回5月臨時会の概要

令和4年第3回臨時会は5月24日に招集され、即日採決となった。

提出された6議案は、原案のとおり可決・承認・同意した。中でも、議案第49号令和4年度観音寺市一般会計補正予算（第1号）では、新型コロナワクチン接種事業関連の補正予算などが提出され、原案のとおり可決した。

文教民生委員会視察報告

日程 5月23日

●愛媛県大洲市

■大洲市学校給食センター整備事業について

令和7年供用開始予定の観音寺市新学校給食センターの整備や運営に関する勉強のため、先進事例である大洲市学校給食センターにて行政視察を行った。

- ◆幼稚園10施設、小学校20施設、中学校9施設のあわせて39施設に対し、1日当たり合計4,590食の給食を提供していた4つの給食調理場を統合して、新たな学校給食センターを整備し、平成24年9月（2学期）より供用を開始した。
- ◆整備・運営にあたっては、PFI手法－BTO方式（民間事業者が施設を建設し、施設完成直後に所有権を市へ移転し、民間事業者が維持管理及び運営を行う方式）を採用した。
- ◆PFIのメリットとデメリット
大洲市学校給食センターの事例では「PFIによるメリットの方が大きい」と事業担当者から説明が行われた。

<メリット>

- ・民間事業者のノウハウを活用することによる適切な提案・事業の実施
 - ①地産地消の推進
 - ②給食に対する多様なニーズへの対応
 - ③食に関する開かれた教育の場の提供
 - ④地域経済の活性化や地元企業の育成・活性化への寄与
- ・事業計画段階からの維持管理、運営企業の参画による効率的かつ効果的な施設整備が可能
- ・事業費の縮減
⇒高いVFM（バリュー・フォー・マネー）の達成
※VFM：支払い（Money）に対して最も価値の高いサービス（Value）を供給するという考え方。従来の方式と比べてPFIの方が総事業費をどれだけ削減できるかを示す割合。
- ・財政負担の平準化

<デメリット>

- ・事業担当者の事務量の増加
- ・PFI手法の導入理由等に関する説明機会の増加
- ・食器・食缶、給食配送車の変更による学校側の対応





白川 雅仁
公明党

自転車損害保険加入が義務化

答 弁
加入促進に努める

〔質問〕 香川県自転車の安全利用に関する条例が改定され、4月から自転車損害保険への加入が義務付けられた。本市の対応は。

〔答 弁〕 地域支援課窓口において、加入義務化および加入促進チラシの配布を行っているほか、学校だよりや県のくらし安全安心課作成のポスターを活用し、周知、啓発を行っている。今後は、市広報紙やホームページ、出前講座などで加入義務化の周知、加入促進に努めていく。また、業務中に従業員が自転車を使用する事業者や自転車貸付事業者にも周知、啓発を行う。

保育施設での使用済みおむつの処分に真空パック機の導入を

答 弁
関係者の意見を参考に検討する

〔質問〕 保育所やこども園でのおむつの処分に、真空パックの機械を導入し、施設で廃棄する方法を提案する。園児一人ひとりのおむつを管理する手間が省け、負担軽減や働き方改革に繋がると、感染症対策の観点からも有効ではないか。保護者の持ち帰り時の臭いの問題も解消されるため、導入を検討願いたい。

〔答 弁〕 保護者や保育士、施設のメリットは大きい。機械導入費やおむつの処分費も発生するため、保護者や三豊・観音寺市医師会の意見を参考に検討する。



大矢 一夫
自民新政治家

公民館の安全性および建て替えに関して

答 弁
観音寺南公民館および西公民館は、経年に伴う老朽化が進行しており安全面からも建て替えが必要である

〔質問〕 合併後、公共施設の耐震診断が行われた。南公民館は建て替えをしなければいけないことが分かっているほど老朽化している。耐震診断をしないという教育委員会の判断であった。費用的にも二つも公民館を建て替える余裕がないので、西公民館と南公民館を一つにするという方針が出て、西公民館区および南公民館区自治会連絡協議会の役員の人々の尽力で各自自治会の人々に納得していただき、令和元年に要望書が提出された。現在どのように動かれているのか。

〔答 弁〕 建築要望地は令和2年2月より地権者と協議を行っている。

〔質問〕 いつまでにめどを付けるのか。

〔答 弁〕 地権者との協議が必要なので、現時点では明確な時期は申し上げることはできない。

— 早期の対応を望む。



大平 直昭
令和の風

デジタル商品券の概要に関して

答 弁
地域内消費の喚起と市内におけるキャッシュレス化を推進する

〔質問〕 今年度は、紙の商品券発行の補助事業に加え、デジタル商品券の発行事業を行うが、その目的と概要を伺う。

〔答 弁〕 コロナ禍において低迷する地域内消費を喚起し、市内事業者の売上確保支援および地域経済の立て直しを図ることに加え、市内におけるキャッシュレス化を推進するため実施する。導入予定のシステムは、持続可能な域内経済循環を目指すため、デジタル地域通貨を良貨として継続して運用していくための基盤構築を見据えたものであり、行政ポイントを付与する機能を付加するなど、より汎用性の高いものとなるよう、検討を進めていく。市内登録店舗での使用を想定しており、店頭でスマートフォンなどを用いて、非接触型のキャッシュレス決済を行う。

発行額1億円に対する20パーセントのプレミアムポイント付与に要する経費2,000万円とシステム開発費、運営管理費、販売促進費を含めた事務経費2,000万円を合わせた4,000万円を事業費として計上しており、現在、委託事業者の選定準備を進めている。





井下 尊義
眞風会

委員の選任の考え方に 関して

答 弁

関係部分の審議に参加していなければ法的に問題ない

【質問】市から補助金が交付されている団体の長をされている方が監査委員をされている。自分の権限で交付金を使い、自分で会計監査する現実について、法的に可能でも倫理的に、公序良俗の意識からはいかがなものかと思われるが、市長はどのようにお考えかお聞きしたい。

【答弁】監査委員は、議員と同じように地方自治法で利害関係のある事項に関して、監査することが出来ないことと定められている。道義的にどう考えるかは、内容や考え方によりさまざまなので答弁しかねる。

【質問】議員のコンプライアンスも変わってきている。我々が社会から求められている倫理観や公序良俗の意識を持ち、同じく補助金をもらっている団体の人々や市民の人々から信頼を獲得するためには考え方も変えていかななくてはならないのではないかと。

【答弁】道義的な問題についてどう考えるかについては、その事案の内容や関わり方などにより考え方はさまざまなので、当局としてはお答えいたしかねる。



岸上 政憲
自民新国会

子育て相談窓口一本 の進捗に関して

答 弁

関係各課職員と協議を行い、設置する場合の課題に向けて検討している

【質問】子育て相談窓口一本化実現に向けて

①現状持ち上がっている問題点とは。

②今後発生するであろう問題点は。

【答弁】人員の確保と相談業務を行う場所の問題が大きな課題であると考える。

6月8日に国会で成立した改正児童福祉法で、2024年度以降各市区町村に、努力義務で「ごども家庭センター」の設置が課されることになる。専門職の設置も含め動向を踏まえながら、人員の確保・場所の問題などを検討していくことが重要であると考える。

【質問】対応部課は女性が多く、残業も多い部門と聞いている。設置されれば市役所内でも画期的窓口となる、窓口一本化に向け、実施後を見据え人材的バックアップを考えては。

【答弁】子育て相談窓口は、少子化対策として市の最重要課題の一つであると考えている。市民、職員の声を聞き、実現に向け、着実に前に進めていけるよう努力していきたい。



友枝 俊陽
自民新国会

各支所機能の今後の在り方を見直す必要があるのではないか

答 弁

新しい社会や地域住民の生活に対応した新たな支所機能を構築し、支所は存続させる

【質問】合併後17年目を迎え、急速なデジタル社会の到来で支所機能の見直しが行えるのではないかと。各種書類はコンビニ交付で受けられるし、相談業務などは本庁との遠隔対応で可能になるのではないかと。何かあれば職員が現場に向かうことは今と変わりはない。支所周辺施設との機能集約や、支所の事務的な担いの見直しなどを行うことで、縮小や廃止も含め見直すことができるのでは。

【答弁】現在の各支所は地域住民の最も身近な行政拠点で、台風時などの防災拠点としての役割や、住民の要望や相談への対応、地区自治会協議会、環境衛生組合の業務も担っている。デジタル社会を迎えて変化が必要なことは認識しているが、公共施設の集約も避けて通れない問題であり、施設単体でなく地域的な視点も取り入れ施設の在り方を検討する必要がある。しかし、新型コロナウイルスの影響で社会や生活が変化の中で「人と人とのふれあい」がこれまで以上に重要とされている。新たな支所機能を構築し、これからも支所は存続させる。





篠原重寿
立志会

「男女共同参画計画」の見直しに向けた考え方は

答 弁
市民が互いに人権を尊重し、自分らしく生きられる社会の実現を目指す

〔質問〕「男女共同参画基本法」（1999年）が施行されたが、現状として女性の社会進出を管理職比率で見ると、日本は男性1に対して0.06（世界120位）で、かなり低水準となっている。真の女性進出には、男女を問わず、人間らしく働ける環境整備が必要ではないか。①我が市の「男女共同参画計画」の目標数値と、現状は。②女性管理職の登用促進にむけ、時間外勤務の縮減、年次有給休暇・男性育児休暇の取得拡充などの取り組みが必要では。

〔答 弁〕 ①女性管理職の割合は令和5年度目標30%が、3年度実績は26.7%、男性育休取得目標10%が実績12.5%となっている。②時間外勤務の状況は、新型コロナウイルスの影響もあり、令和3年の職員一人あたり月9.6時間と前年比で、増加し、年次有給休暇は9.6日以上と、前年を若干上回っている。今後も事務事業の見直しなどにより時間外の縮減を進める。年休取得促進には、計画年休、安心して取得できる職場の体制づくりに努める。職員の健康維持に向け、人事担当部局、所属長による健康管理の指導を強化する。



三好優子
無所属

市の林業の現状は

答 弁
地元産の間伐材などの活用も検討している

〔質問〕林業従事者が減少している中、森林を放置する事で、想定できる事態は。

〔答 弁〕 植生が荒れる。土壌がゆるくなり災害が起きやすくなる。温暖化防止の働きが弱くなる事態が想定される。

〔質問〕令和6年度から一人当たり1,000円の「森林環境税」が徴収され、「森林環境譲与税」として市町村に配分されるが、今後の有効な使い道は。

〔答 弁〕 国・県補助事業を活用して森林整備を行う所有者等に対し上乗せ補助を行い、経営意欲の向上を図る。

本市のウォーキングコースに関して健康づくりの一環としても利用できるかと考えられる

〔質問〕本市は、海・山に囲まれ、「クアオルト」＝「療養地・健康保養地」として、健康・観光等を目的とした、ウォーキングイベント開催を期待する。現存のウォーキングコースは？

〔答 弁〕 各種団体による、観光要素が含まれた健康ウォーキングコースや、古墳と組み合わせた散策コースがある。ミニ八十八箇所コースの市道部分の整備についても対応していく。



伊丹準二
令和の風

長期振興計画と3大事業に関し伺う

答 弁
前期計画の見直しを行うとともに、後期計画にも反映させていく

〔質問〕市長の掲げる3大事業と長期振興計画の予想される成果物は具体的に何か。

また、地域活性化に沿い、地域おこし協力隊が3名いるが、その活躍があまり見えない。隊員の思いが形になっていないのであれば、根本から見直しが必要ではないか。

〔答 弁〕 現在プロジェクト推進室を中心として各々の事業を進めているところであり、具体的な記載は出来ない。

地域おこし協力隊は市からの「委嘱型」の形式で活動しており、受入地域の特色を活かしながら、一人の市民として広く地域に根づいた貢献や活動を3年間行っていく。事業の趣旨や活動内容などをご理解ご協力いただけるよう今後さらに市の情報発信媒体を活用していく。

人材登用に関して

答 弁
採用、昇給などは成績、適正などを考慮して行っている

〔質問〕市の職員の構成比率に即し人材の登用、管理職の登用を行っているか。

〔答 弁〕 採用、昇給などについては、個々の成績、適正などを考慮して行うべきものと考えられるため、理想的な構成比率は考えていない。





藤田 均
無所属(共産)

物価高騰による給食費の値上がりを保護者の負担にするべきでない

答 弁 国の交付金の活用を検討している

【質問】 学校給食費の物価高騰の負担軽減に、臨時交付金の活用を文科省も要請している。高松市はさっそく活用を決めたが、本市は？

【答弁】 本市においても高松市と同様に、食材費の高騰分を保護者に求める事は避けたいと考えており、この交付金の活用を検討している。

計画地から「ヒ素と鉛」が基準値以上出ていることを、市は聞いていたか

答 弁 県から文書などによる報告や通知はなかった

【質問】 産廃施設設置場所の反対に2,617筆の署名が集まるが、県は「反対がどうのこうの」でなく、法的に問題なければ県は認可しなければならぬ」と言っている。市からの意見書には、「農業者や漁業者など関係者に説明し同意を得るよう県が指導監督する」ことを求めています。意見書の検証が必要では？



【答弁】 県によると「意見書に法的拘束力はない、事業者が意見書を確認しながら考慮し、対応されたものと承知している」とのことだった。



合田千佳子
真風会

子育て相談窓口に関して

答 弁 市民にわかりやすい窓口の設置に向け取り組み

【質問】 子育ての相談は多岐にわたり、自ら困っていることをどこに相談すればよいのか、わからず困っている。改善していくべきではないか。

【答弁】 最初に対応する窓口の設置と子育て相談の専用の電話を設置し、専門的な知識を持つ職員の配置も含め、相談しやすい窓口設置に取り組んでいく。

電子母子手帳の導入に関して

答 弁 三豊・観音寺市医師会と三豊市と協議する

【質問】 電子母子手帳のメリットとしては、予防接種の忘れ防止アラート、離乳食、沐浴などの動画配信、地域の子育て情報の案内、子育て施策の満足度調査など多くが挙げられている。市での導入に当たりどのような考えがあるのか。

【答弁】 県内の導入している自治体に確認したところ、保護者は冊子とアプリを併用しているとのこと。本市と三豊市では18歳まで記録できる独自の「MYカルテ」と、母子手帳を連動した取り組みがあり、導入に当たっては、保護者の利便性や費用対効果などについて、協議していく。



大久保隆敏
立志会

「公共施設個別計画」公表せよ！

答 弁 計画の公表は考えていない

【質問】 市は公共施設二割削減に取り組んでいる。現在維持管理に人件費を除いて年間約9億5,000万円。そこで約1,500万円かけて「公共施設個別施設計画」(令和2年度～11年度)を立てた。内容は154施設を8つに分類①計画期間中は現状維持61施設②修繕・予防保全的な改修24施設③長寿命化改修・大規模改修16施設④建替え(更新・改築)17施設⑤一部取り壊し・縮小2施設⑥廃止検討10施設⑦移転を検討1施設⑧検討中23施設。私は市民皆さまのご理解ご協力をいただくため公表すべきと思うが。

【答弁】 個別施設計画は、公共施設等管理計画の下部にあたる計画として、今後の維持管理費の概算を出すための資料として集約したものです。今後少子高齢化による歳入の減少、歳出の増加も想定される中で、計画の遅延なども予想されることから個別施設計画の公表は考えていない。なお、施設の統合、廃止となる場合には、市民の皆様の意見を聞きながら進めていく。





豊浦孝幸
真風会

観音寺版ランドバンク の設立に関して

答 弁
先進事例などを研究し取り組
んでいただける事業者などに
声掛けを行っていききたい

【質問】 土地の流通と再販を担うには市の土地
開発公社を活用するか全国で見られるランドバ
ンク的な組織、いわゆる行政と民間業者、法律
関係者などで組織を作り、空き地・空き家周辺
整備事業を行い利便性が高い土地として再販し
たり、住民ニーズが高い施設にリニューアールし
ていくことが必要である。

国土交通省もそういった組織には土地建物取
得に係る不動産取得税を低減する特例措置を積
極的に普及拡大している。そういった組織の中
に空き家バンク、空き家相談などをその組織に
集約し、ワンストップ化すれば有効と考えるが
市の考えを伺う。

【答弁】 今後増えていく可能性のある未利用地
の対策については、個人あるいは、民間事業者
に頼るしかない状況で、現在これといった手立
てがあるわけではない。道路幅員が狭小である
ため利用しにくいとか、敷地が狭すぎるため利
用できないなどの問題を抱えているところが多
いと考えている。そういった問題に対して、放
置する事は、未利用地を増やすことになると思
われるので、先進事例などを研究し
ていく中で一緒に取り組んでくださ
る事業者などに声掛けを行いたい。



五味伸亮
立志会

中四国最大級の道の 駅整備は6年後と推測 するが整備計画を伺う

答 弁
最短で6年と考えている

【質問】 市長公約は重いものと認識している。
市長公約だけではなく、人口構造の激変と財政
運営の見直しから、全ての魅力を今後9年以内
に高めていかなければならない。市長公約の3
大プロジェクト、三豊工業高校跡地への看護系
大学開設に伴うJR豊浜駅周辺の整備、中四国
最大級の道の駅の整備、JR観音寺駅舎の橋上
化について進捗状況と実現時期を伺う。

【答弁】 現時点では明確に答えられない。中四
国最大級の道の駅は、今年度中に基本構想の策
定業務に着手していく。

【質問】 中四国最大級の道の駅は、基本構想で
半年、基本計画で1年、基本設計で1年、実施
設計で1年、事業者選定と施工で2年、概ね6
年後、令和10年を目標とされていると想定する
が、考えを伺う。

【答弁】 最短で6年をめどに進める。

【質問】 今後、公共施設整備が予定されている
ことから、3大プロジェクトに係る財源の厳し
さは現状からも想像できる。事業推進には、予
定事業の見直しや大胆な行財政改革による経常
経費の削減、税収の増加を図らなけ
ればならないと考えるが。

【答弁】 厳しい財政状況も踏まえた
上で、取り組みを進めていく。



合田隆胤
真風会

ワクチン接種情報の 「見える化」推進を

答 弁
接種券の同封プリント・
ホームページ・SNS・
広報紙で発信していく

【質問】 未接種の方よりも、
2・3回目接種者のほう
が、感染率が高いという
事実はあるか。

【答弁】 接種済の陽性者数
が未接種の陽性者数を上
回っている。

【質問】 ①令和4年の人口動態調査の死亡者数
について、38,630人が対前年度比で「超
過」して死亡していること、②接種後の「副反
応疑い」で亡くなった方が1,700人を超え
ていること、それぞれ間違いはないか。

【答弁】 議員指摘のとおりである。

いじめの仲裁制度導入の検討を

答 弁
専門職のOB活用などの
可能性を探る

【質問】 いじめを確認した際、自衛官OB、警
察官OB、人情派の優秀な教員OBなどに間
入ってもらうことで広い視野で子どもを見守る
必要がある。

【答弁】 試行的に現場に立ち会うな
どし、仲裁制度の可能性を探ると
もに、誠実な対応に努める。



掲載できなかった個人質問

氏名	質問件名
白川 雅仁	<ul style="list-style-type: none"> ●2024年度デジタル教科書本格導入について ●男性用トイレへのサンタリーボックス設置について
大矢 一夫	<ul style="list-style-type: none"> ●がん検診について ●義務教育のタブレット利用方法について ●国際音楽祭について
大平 直昭	<ul style="list-style-type: none"> ●移動販売車の補助制度について
井下 尊義	<ul style="list-style-type: none"> ●地域防災とその対策について ●タクシーによるデマンド交通について
岸上 政憲	<ul style="list-style-type: none"> ●市のデジタル化について ●市の施設の合理化について
友枝 俊陽	<ul style="list-style-type: none"> ●公共財産（土地・建物）の売却について ●中学校の部活動について
篠原 重寿	<ul style="list-style-type: none"> ●職場のメンタルヘルスについて ●子育て支援について
三好 優子	<ul style="list-style-type: none"> ●空き店舗バンクについて

氏名	質問件名
伊丹 準二	<ul style="list-style-type: none"> ●施設運用について ●南海トラフへの対策について
藤田 均	<ul style="list-style-type: none"> ●CO₂排出ゼロ対策としての、省エネ・断熱住宅改修助成等について ●伊吹丸の強風による岸壁接触事故の安全対策について ●コロナ禍における高齢者施設での投票の保障について
豊浦 孝幸	<ul style="list-style-type: none"> ●地方創生について ●ゼロカーボン市について
五味 伸亮	<ul style="list-style-type: none"> ●不妊治療の医療費助成について ●医療介護費について ●広域連携について ●ふるさと納税について
合田 隆胤	<ul style="list-style-type: none"> ●一の宮公園について



新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う、傍聴に関するお願い

新型コロナウイルスの感染が全国的に広がっています。3密（密閉・密集・密接）を回避するため、引き続き傍聴をお控えくださいますようお願いいたします。

なお、傍聴を希望される場合は、次の点にご協力ください。

- マスクの着用をお願いいたします。
- 手洗い、手指の消毒をお願いいたします。（議場入口に消毒液を準備いたします。）
- 傍聴日当日に発熱がある場合や、倦怠感がある、咳が出るなどの体調不良の場合は、傍聴をお控えください。

また、本会議の様子は市議会ホームページ内の「議会映像」からご覧いただけます。



議案の審議結果

※提出議案などの詳細は、本紙2・3Pまたは市議会ホームページ「提出議案等」をご覧ください。

令和4年第3回（5月）臨時会

●全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
議案第44号	専決処分の承認について（観音寺市税条例等の一部を改正する条例）	承 認
議案第45号	専決処分の承認について（観音寺市都市計画税条例の一部を改正する条例）	//
議案第46号	市道路線の変更について	原案可決
議案第47号	財産の取得について（消防ポンプ自動車）	同 意
議案第48号	財産の取得について（小型バス（のりあいバス））	//
議案第49号	令和4年度観音寺市一般会計補正予算（第1号）	原案可決

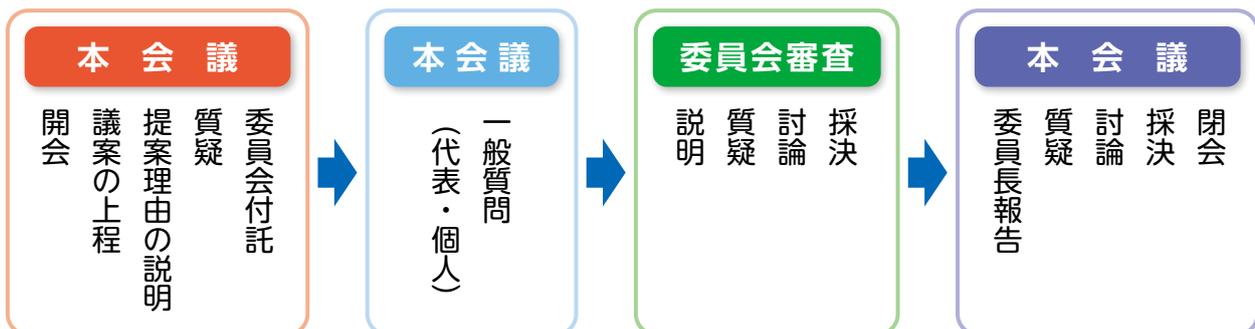
令和4年第4回（6月）定例会

●全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
議案第50号	観音寺市税条例等の一部改正について	原案可決
議案第51号	観音寺市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	//
議案第52号	令和4年度観音寺市一般会計補正予算（第2号）	//
議案第53号	令和4年度観音寺市一般会計補正予算（第3号）	//

定例会・臨時会の流れ

議会には、定期的に行われる定例会（3月、6月、9月、12月）と、必要に応じて行われる臨時会があります。議会に提出された議案などは、開会から閉会までの期間中におよそ次のような順序で審査されます。



※定例会の場合



表紙写真の紹介

『さざ波を感じる』 3年 中野 亜希

家族と海に行った時の写真です。この日は非常に暑く、思わずサンダルを履いたまま海に入っていました。水の冷たさが心地よく、周りの景色や波の音で心が落ち着き癒されました。海には癒しの効果があるそうですので、皆さんもちょっと疲れたなと感じたらぜひ海に行ってみてください。

『飛べ!』 3年 今城 りょう

この写真はトンボが止まっている時に撮った1枚です。なかなか飛ばなかったので、飛べという思いと私たち3年生が進路に向けて飛んでいけるようにこのタイトルにしました。

『夏色』 3年 横関 未来

コロナ禍で外出を自粛していた時に久しぶりに両親とお出かけした時の写真です。天気が良くひまわりと空の色のコントラストが映える1枚になりました。この写真を見て少しでも夏気分を味わっていただけると嬉しいです。

『海へ』 3年 藤田 陽華

家族で久しぶりにお出かけした時に撮りました。真夏の太陽の光が海へと走り出した弟に当たり、その光と影が作り出した神秘的な印象を残したいと思いました。最近は家族と出かける機会が少なくなったので、大切な思い出として写真に残しておきたいと思います。



委員長		白川 雅仁
副委員長		大平 直昭
五味 伸亮	篠原 和代	
合田 千佳子	三好 優子	
岸上 政憲		

広聴広報委員会

22日	14日	13日	12日	8・9日	1日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議(一般質問)	本会議

9月定例会の予定



広聴広報副委員長 大平直昭

現在、担当する当委員会は、有意義な意見交換会になるよう、鋭意準備を進めております。次号では、その内容などをご報告する予定でございますので、よろしく願います。

編集後記

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を見合わせていた「市民との意見交換会」を、今年度は開催いたしました。今回は観音寺の未来像について、高校生世代の人たちとワールドカフェ形式での開催となります。

オープンカフェ「ミライエ」を開催予定。(参加者については募集を締切っています。)



古紙配給率70%再生紙を使用しています



この議会だよりは環境にやさしい植物油インキを使用しています。